

### 商経学部開設75周年記念 連続学術講演会

商学部の源流は、1912年（明治45年）に神戸・原田の森に開設された関西学院高等部商科にあります。大学の学部としての原点は、上ヶ原に移転して5年後、1934年（昭和9年）に大学令に基づいて開設された「関西学院大学商経学部」に求められます。開設当時の「関西学院大学商経学部」は、商業学科と経済学科で構成され、入学定員は360名でした。

1948年（昭和23年）には、新制大学への移行にともない経済学部へ改称します。1951年（昭和26年）になると、商業学科と経済学科が分離独立して、新制学部として現在の商学部が誕生しました。

その独立から今日まで、特徴的で個性的なカリキュラムのもと、国際化経済の時代をリードするビジネスパーソンや研究者を数多く輩出しています。

以上の歴史を踏まえ2009年度は、「真に国際的なビジネス・パーソンの育成」を教育目標に掲げ、教育研究活動を展開してきた商学部の歴史を振り返り、さらなる発展を期して「商経学部開設75周年記念連続学術講演会」を実施しています。すでに、幾つかの講演が開催され、その都度、各方面においてアナウンスがなされていますが、今後も多くのビジネス界で活躍する講師による講演会が予定されています。

学生の皆さんにとって、人生の先輩から現場のお話を聞くことができる大変良い機会です。事務室前の掲示や告知チラシなどをチェックして、積極的に参加することを勧めます。

### 私の薦めるこの一冊 井上 達男 教授 石原 武政 『「論理的」思考のすすめ』

（有斐閣、2007年）1,700円

石原先生が普段あるいは若い頃に考えていたことを、頭の中で思考が流れるがごとく、わかりやすい文章で書かれている。『書齋の窓』好評連載を書籍にしたもので、各節が読

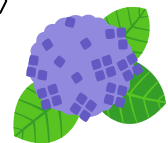
### 商学部元アドバイザー・パネル との交流会

昨年度まで本学商学部のアドバイザー・パネルとして御貢献くださった辻晴雄氏（シャープ元社長、現相談役）をお招きして、6月11日（木）第5時限に第2教授研究館第1研究会室にて、学生との交流会を開きました。辻氏には同日第4時限に商経学部学術講演会において「チャンスをピンチに」という主旨で経営意思決定に関わる体験を学生に伝えていただいた後だけに、辻氏に対して交流会に出席した商学部生9名から間髪入れず、「社長になりたいと思っておられましたか」など、さまざまな質問が飛び交いました。本学のOBらしく、時には笑顔で、またある時には驚きの表情を交えたりして、激励の言葉をかけながら、辻氏は丁寧に答えてくださいました。

本交流会の企画は今回が初めてです。10月にも講演会講師との交流会が予定されます。参加申込み受付は商学部事務室内です。



〈講演中の辻晴雄氏〉



みきりで読みやすい。「ゆでカエルの理論」で恐怖を煽る理論のすり替え、「定義の難しさ」での若手研究者いじめ、「指から出まかせ」、若い頃の理屈屋の石原先生、教授会のことなど。「あとがき」で著者自身が「そりゃ、恥ずかしい気はありますよ」という本音の書物。



## 学術講演会の開催予定

7月1日に商学部主催学術講演会を開催します。日時、演題、講師は以下のとおりです。

### 「中国経済の現状と課題

#### －改革開放を軸に－

講師：関 志雄(かん しゅう)氏

株式会社野村資本市場研究所シニア  
フェロー、独立行政法人経済産業研  
究所コンサルティングフェロー

日時：2009年7月1日(水) 第5時限  
(16:30～18:20)

会場：B号館302号教室



## 全学休講に伴う補講

### 定期試験日程の変更について

5月18日(月)～24日(日)の新型インフルエンザにともなう全学休講措置に際して、補講日、定期試験の日程が変更となりました。詳細については大学のホームページ：

<http://www.kwansei.ac.jp/hokou.html>を参照して下さい。

なお、具体的な補講実施科目等については、教学Webサービスや商学部前の掲示板を確認するようにして下さい。



## 学生マナー向上キャンペーン 自動車通学禁止・バイク通学自粛 キャンペーン

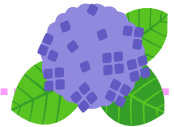
5月12日(火)と15日(金)に2009年度第1回学生マナー向上キャンペーンと自動車通学禁止・バイク通学自粛キャンペーンが全学挙げて実施されました。商学部からは岡田太志教授(保険論担当)と藤沢武史教授(国際マーケティング論担当)が任務にあたりました。中央芝生内での球技は禁止されており、芝生の上でキャッチボールやバレーボールをしている学生に厳重な注意がなされました。昨年度より50cc超のバイクでの通学は禁じられているので、その不法駐輪も注意の対象となりました。

## フランス語海外研修への参加

2009年度フランス語海外研修(研修大学：フランスシュ・コンテ大学)に1名の商学部生が参加します。

## 国連セミナーへの参加

2009年度国連セミナーに2名の商学部生が参加します。



## 教員紹介



### 広瀬 憲三 教授

大学院(神戸大学)を終了してすぐに関学商学部で働いています。もう20年以上いることになります。1992年から2年間アメリカのシアトルにあるワシントン大学に留学する機会を得、大いに学術的刺激を受けました。帰ってきてすぐに神戸淡路大震災にも遭いました。

私の専門は国際経済学、特に国際貿易理論で、なぜ貿易が発生するのか、貿易によりどのような利益を得ることができるかなどについて研究しています。国際経済学に限らず経済学は数学を使いますので、とても難しく思えるかもしれませんが、物事を論理的にみる力を養うことができますので、将来企業などに入ってから役立ちます。嫌がらないでぜひ勉強してください。



### 藤野 真子 准教授

大学受験の時「英語が難しそう」だと諦めた関学に中国語担当教員として着任してもう7年目、非常勤時代の2年間を足すと、足かけ十年近くこの大学で教えていることになります。中国語履修者の多くが発音や字形で苦労しているのは今も昔も同じですが、中国語や中国文化に関する情報量は21世紀に入って相当増えました。実は昨年度は留学で一年間を上海で過ごしたのですが、北京オリンピックを尻目に上海万博へと邁進する彼らの意気込みは大変なものでした。上海万博は来年開催なので(公式「ゆるキャラ」の海宝があちこちに立っています)、是非現地まで足を運んでみて下さい。ご希望の方には現地グルメ指南もいたします。

